



## 「特別な夏」に思う札私幼の役割

中止か延期か開催か、無観客か上限設定か、様々な意見が飛び交った末に、東京オリンピックは開催されることになりました。日本でオリンピック開催は、本来であれば大変喜ばしいことですし、いつもより楽しみの多い夏休みになるはずですが、コロナ禍でのオリンピックはお祭り気分になれないことも事実です。開催に至るまでの間、政府や大会組織委員会にこのような質問がたびたび投げかけられました。「東京オリンピック開催の意義は何ですか？」そこに、明確な回答があった記憶はありませんが、規模は全く違うにせよ、同じようなことが私たちの園でも起きているような気がします。



昨年2月以降、幼児教育・保育の傍らには、常に新型コロナウイルスがありました。その存在は、逃げようとしてもずっとついてくる大きな影のようなものでした。各園の先生方は、市内の感染状況を常に気にしながら、日々の保育や行事をどうするか苦悩されてきたことと思います。時には、保護者の方から「こんな状況でも〇〇をやるんですか？」とか「感染対策が不十分ではありませんか？」などの言葉を投げかけられたこともあるでしょう。子どもを育てる幼児教育・保育と子どもを守る感染症対策の両立に頭を悩ませていくうちに、「密を完璧に避けようとする」と幼児教育・保育は成立しないことに改めて気づくとともに、「子どもたちは園でどのような経験をすべきなのか」「運動会や発表会は何のために行うのか」「そもそも幼児教育・保育はどうして必要なのか」について考える機会も多かったと思います。各園がこうした問いに対して明確でビュアな答えを持ち合わせ、それを保護者や社会に発信できているかどうかは、東京オリンピック開催の意義がきちんと世の中に伝わっているかどうかと、本質的に同じことのように思えるのです。

幼稚園団体も同様です。感染症対策だけを考えれば、事業を全く行わないことが一番ですが、幼稚園団体には存在する意義があり、会員園からの会費や行政からの支援をいただいている以上、社会的役割を果たす責任があります。「そもそも幼稚園団体はどうして必要なのか」という視点から、札私幼の取り組みと、今後取り組むべき課題を整理したいと思います。

### ①学びの場

幼児教育・保育の質向上のためには、学び続ける場が必要です。札私幼は、多くの先輩たちのご尽力により研修文化はすでに根づいています。しかし、「コロナ禍であっても学びを止めない」という考えのもと、研究委員会の先生方が知恵を出し合い、新たなスタイルの研修会の企画・運営にも取り組んでいます。例えば、昨年度、オンラインのシステムを導入したことにより、研修の可能性を広げることができました。また、1年目から5年目まで連続的に学びを深める「キャリアデザイン研修」の仕組みをつくり、研修の体系化を一步進めました。今後は、アフターコロナの時代も見通しながら、各園の園内研修・研究の活性化につながるようなアクティブな研修も実施していきたいと考えています。会員園の保育者の皆様が、学ぶことの必要性とともに、学び続けることに喜びを感じられるような土壌を、引き続き醸成していきます。

### ②人材確保

10年以上前、人材確保の競争相手は他園でした。私たちは学生を選べる立場にあり、少なくとも幼稚園団体として人材確保の事業を行う必要はありませんでした。10年ほど前から、競争相手は保育所になりました。幼稚園団体は、幼稚園教諭の仕事の魅力をアピールする場を設けたり、各園の人材確保をサポートする役割を担うようになりました。危機感に迫られ、札私幼が就職フェアを始めたのが7年前のことです。その後、新制度が始まって施設も多様化していく中、競争相手は目に見えづらくなりました。気づけば、私たちは学生に選ばれる立場になり、求人に応募してくれるだけでありがたいと思うようになってしまいました。経験者やパートの保育者も容易には見つからず、人材紹介会社に頼らざるを得ないような状況も見受けられるようになりました。養成校への入学者そのものが減ってきている中、今や幼稚園団体には多様なアプローチが求められています。札私幼では、昨年度、復職・就職支援セミナーを開催して潜在保育者の掘り起こしを試みたり、今年度にかけてホームページの充実も図っていますが、今後は、養成校との一層の連携、中高生への積極的アプローチ、さらに人材確保だけではなく人材定着につながる事業などを検討する必要があります。また、幼稚園教諭・保育教諭の社会的地位をさらに向上させていくことも、会員園が一体となって取り組むべき課題と思われる。

### ③安定した園運営

質の高い幼児教育・保育を実践するためにも、幼稚園教諭・保育教諭のさらなる処遇改善のためにも、安定した園運営が必要です。もちろん各園の経営努力が基本ではありますが、行政からの支援も欠かせません。各園が抱える共通の課題を幼稚園団体を通して訴えることによって、補助金を含めた様々な仕組みや制度をより望ましい方向に動かしていく可能性が開けます。今後も、会員園の皆様の声にも耳を傾けながら、札私幼として市に主張すべきことは主張していきます。また、園運営において判断材料となる情報を各園にタイムリーに伝えることも、幼稚園団体の役割です。紙媒体、メール、オンラインなどのツールを状況に応じて適切に選び、国、道、市などの情報を迅速にわかりやすく提供していきます。

今年度の会員園 154 園の内訳は、私学助成の幼稚園 24 園、施設型給付の幼稚園 57 園、幼稚園型認定こども園 9 園、幼保連携型認定こども園 64 園となり、認定こども園が半分近くを占めるようになりました。各園が抱える課題やニーズも多様化してきていますが、新制度や無償化の荒波も一段落し、私たちは今後の幼児教育・保育について腰を据えて考えるべき局面に入ってきていると言えるでしょう。その際、「札幌の子どもたちのために」という視点を忘れずに、「こうあるべき」というビジョンを会員園の皆様と共有して、それに向けて事業を進めていきたいと思っています。今後も、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

東京オリンピックはテレビで応援するしかなさそうですが、選手たちのひたむきな姿、国や人種を超えたつながりが子どもたちの心を動かし、その経験が少しでも子どもたち一人ひとりの幸せな未来につながる「特別な夏」となることを願っています。

# 令和3年度・札私幼委員会活動

## < 振興委員会活動について >

振興委員長・古川 多三和

振興委員会では、令和2年度から区選出委員の他にプロジェクト委員を選出し、委員会運営を行っております。各委員の主な役割は以下の通りです。

区選出委員	プロジェクト委員
・各区の幼保小連携推進協議会の担当 ・発行物の検討（私立幼稚園・認定こども園パンフレット、実態調査） ・就職フェアの運営協力 ・その他、私立幼稚園・認定こども園の振興に関すること	・補助金制度の研究 ・復職・就職支援セミナーの実施

現在は新型コロナウイルスの影響もあり、区選出委員の先生を交えた全体の振興委員会は、必要最小限の開催としておりますが、担当副会長、委員長を含め、計6名からなる振興プロジェクト委員会では、写真のようにマスクの着用やソーシャルディスタンスの確保等、感染症対策を行いながら定期的に委員会を開催しております。

今回は紙面の都合上、振興委員会の事業の中でも、令和2年度から実施している「復職・就職支援セミナー」について触れさせて頂きたいと思っております。



「復職・就職支援セミナー」は、その名の通り、資格を持ちながら保育現場から離れている方の復職や就職を支援するためのセミナーです。道内養成校の定員割れが生じている中で、新卒者の採用だけでは、人材不足を解消することは困難な状況です。そのような状況の中で、有資格者の方に保育現場に戻りたいと思って頂けるように、情報提供による復職・就職支援を行っております。

今年度も昨年度に引き続きオンラインでの開催を予定しております。当初は9月上旬からの配信開始を予定しておりましたが、緊急事態宣言の発令等で委員会を開催することができず、現在は11月上旬から配信を開始できるよう活動を行っております。今年度の開催案内が完成しましたら、会員園の皆様にご送付させて頂きたいと思っておりますので、保護者の方に配布頂きますと幸いです。

## < 広報委員会活動について >

広報委員長・米永 桃子

広報委員会では、今年7回目を迎える【就職フェア】を対面で開催することを前提に準備を進めております。また、札私幼ホームページに【新卒者向けのサイト】を開設し、学生にこの仕事の魅力をより知ってもらえるような内容にリニューアル、就職や採用に関しても今まで以上に詳しく掲載出来るよう進めております。就職や採用情報も各園から直接入力することでリアルタイムな情報を提供出来るようにしております。就職フェアについても既にブース参加のご案内がお手元に届いていると思っております。昨年同様に感染対策も強化し【会場増設】【養成校ごと来場】など出来る限りのことをしながら対面での開催を進めております。また、感染拡大などにより対面での開催が難しい時のことも踏まえ【オンライン】での開催も視野に入れ検討しております。

年々深刻化している人材確保ですが少しでもミスマッチなく採用につなげられるよう会員園に少しでもお役立ていただけるよう今年度も意見を出し合いながら委員会活動を進めたいと考えております。

今年も開催予定です!

第6回 札幌の私立幼稚園・こども園の就職フェア

## ライトピカ 2021

開催：9月20日(月・祝) 9時~16時(予定)

場所：赤十字札幌第一センター(2F・4F)

※各園様よりお申し込みください。参加費無料。  
 ※参加費無料の申し込みは、お申し込みの受付期間内に行ってください。  
 ※申し込みの受付期間は、令和3年9月10日(水)～9月16日(木)です。

## < 認定こども園委員会活動について >

認定こども園委員長・芝木 孝満

今年度も認定こども園委員長を務めさせていただきます芝木孝満と申します。昨年度は園務がお忙しい中、乳幼児研修・園長会へご参加いただきましてありがとうございました。

令和3年度の札私幼加盟園は154園となっております。形態別に見ますと、私学助成園24園、施設型給付園57園、幼稚園型認定こども園9園、幼保連携型認定こども園64園となっております。子ども・子育て支援新制度が施行された平成27年の施設型給付の園が17園、認定こども園の数が17園だったことを考えますと、乳幼児にかかわる園、先生方が急激に増えていることがわかります。そのような中で、今まで乳幼児とかかわりの少なかった先生方がどのように乳幼児の保育をしていけばよいのか、園としても開所時間が延びたことや、先生方の人数が増えたこと、様々な働き方の先生方がいることで労務の悩みも出てきているのではないかと思います。認定こども園委員会では、乳幼児研修を通して現場の先生方の悩みを少しでも解決出来るように、また園長会を通して園長先生、管理職の先生方にも乳幼児の保育を理解すると共に労務の面での悩みを共有したり解決できる場を作っていければと考えております。

今年度もまだ新型コロナウイルスの影響があり、どのような形での開催になるかは検討中ですが、乳幼児研修と園長会の開催を予定しておりますので、是非ご参加いただければと思います。

令和3年度も宜しくお願い致します。

## < 政令指定都市団体協議会報告 >

政令担当理事・前鼻 英蔵

この度、引き続き政令指定都市団体協議会担当の理事を拝命しました、西野桜幼稚園・園長の前鼻英蔵です。

本来であれば、この7月には全国の政令指定都市20都市の私立幼稚園協会の役員を始め各都市の担当職員も来て、この札幌市において大会を開催する予定でしたが、万全の中での開催をする事が困難な中では実施は無理との判断から中止となりました。昨年は広島での開催予定でしたが、これも中止しましたので、次年度開催は福岡と決まっていることから、その次に広島となり、札幌は三年後の再開催となりました事をご報告申し上げます。その際には改めて理事の先生を含め開催実行委員としてお手伝いをお願いすることがあると思っておりますので、よろしく願い申し上げます。



さて、政令指定都市は20都市となりました。政令指定都市は、トップの横浜市377万人から最小都市の静岡市の70万人まで幅広くあります。ほとんどの都市は、小学校で習いました『太平洋ベルト地帯』に存在し、そこ以外は新潟市、仙台市位です。また、ほとんどが新幹線駅がある都市で、ただし相模原市、堺市は直接の駅はありませんが近くにありまますので除きますと、全国唯一新幹線駅の無い政令指定都市が札幌市とも言えます。2030年度開業予定ですが、少なくとも三年後の開催には間に合いませんので、鉄路でお気軽にといい、飛行機で遠路はるばるお越し頂くという表現がまだ続くようです。

とはいえ、政令指定都市20都市で全国の2割の人口を占め、また子どもの数にすると4割以上が政令指定都市20都市に住んでいると言われております。そういう点でも政令指定都市20都市が知恵を絞り、幼児政策に対して提言を強く言える立場でもありますので、各都市と有効的に連携を取りながら子ども達のために何が出来るかをしっかりと国に向けて発信できるようにして参りたいと思っておりますので、皆さんのお知恵も多数寄せて頂ければと思います。

# 令和3年度・札私幼キャリア・ デザイン研修について

研究委員長・大谷 壮史

研究委員会では、今年度より『キャリア・デザイン研修』という研修を運営いたします。目的は以下に記載しておりますが、本連合会としてキャリアアップに係る研修受講の筋道を明確にし、教員が見通しを持って参加していくことで、未来のリーダーを育成します。

## <目的>

### (1) 札幌市私立幼稚園連合会として「研修を通じたキャリアアップのフレーム構築」

『全日本私立幼稚園幼児教育研究機構』が示すキャリアアップ研修の中で、「処遇改善に係る研修」の積算は60時間（中核リーダー対象）であり、そのうち15時間は「キャリアアップ研修9分野（文科省）からの俯瞰図」における『分野8. マネジメント』から受講しなければならない。私立幼稚園等における教育研究課題としても、キャリアステージ・ライフステージに応じた研修は必須と示されており、本連合会として「教員が計画的に受講する仕組み」が不可欠である。

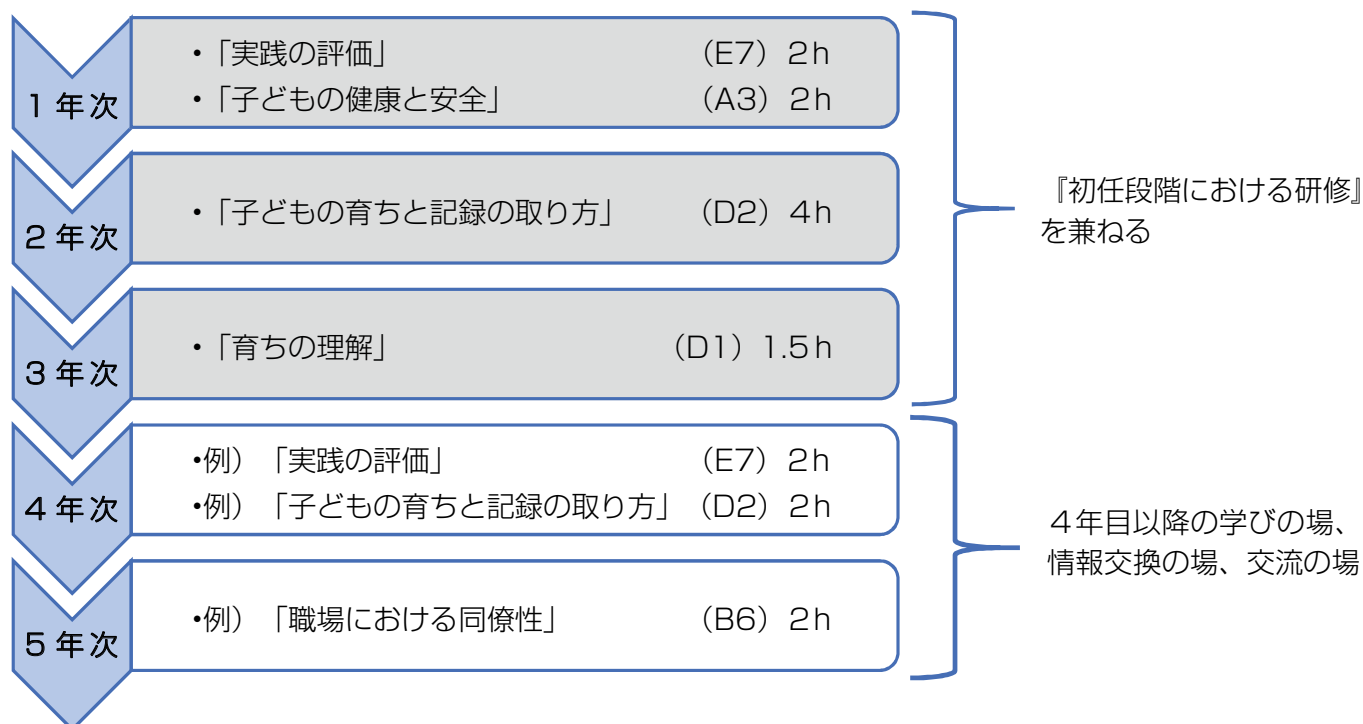
### (2) 新採用から中堅リーダーまで育成する「継続的な研修」

幼児教育センターとの併催である『初任段階における研修』において、昨年度までは1・2年目が対象となっていた。中堅リーダーを育成するために、今年度より『初任段階における研修』は3カ年に亘る研修へ変更し、さらに4年目以降も『キャリア・デザイン研修』を通して学びの場、情報交換の場、交流の場にすることで、中長期的な視点で人材育成をする。

### (3) 『キャリア・デザイン研修』とその他の研修の連携

『キャリア・デザイン研修』においては上記『分野8. マネジメント』を中心とし、その他の研修（本連合会主催の研修、区別研修等）と連携を図りながら、他8分野に亘って専門性を高める。

## <『キャリア・デザイン研修』 フレーム例>



## 令和3年度・定時総会報告／札私幼事業内容配信報告

令和3年度の定時総会を5月21日（金）にホテル札幌ガーデンパレスにて開催致しました。

今回は新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言下のため会場には札私幼総務委員8名のみが集まり、委任状4名、意思表示95名の会員により、会員総数154名の過半数が出席とみなし定足数を満たしている旨を確認し議題に入りました。

議案第1号「令和2年度事業報告及び決算承認の件」

議案第2号「監事選任の件」

議案第3号「理事選任の件」

上記の件については原案通り承認されました。詳細につきましては事務局より5月26日に発行された定時総会報告でご確認下さい。

総会の中で、今回は会員園の皆様が総会への来場が厳しい状況下であることを踏まえ日を改め、札私幼事業報告を動画配信で行うことを決めました。本来であれば直接皆様の前でお伝えするのが一番ですが今回は配信の方法を取らせていただきました。



当日配信をご覧いただいた園の皆様そして後日ご覧いただいた皆様、多くの会員園の皆様にご覧いただきました。ご視聴ありがとうございました。



配信の内容は下記の通りです。

※札私幼各委員会より今年度の活動について  
報告内容については、この広報誌の2～3ページに掲載しております。

※幼稚園ナビの活用について

公益社団法人 北海道私立幼稚園協会  
主幹 馬場 克典 様

今後も何かの機会には配信の方法も視野に入れ札私幼事業活動を進めてまいりたいと考えております。



## コロナワクチン優先接種要望について

### ＜ワクチン優先接種要望報告＞

新型コロナウイルスは、変異株の拡大もあり、特に5月の緊急事態宣言発令後は、今まで以上に緊張感をもって子どもたちとかわる日々が続いたことと思えます。保育者の不安感を和らげ子どもたちをウイルスから守るためには、保育者自身の感染リスクを減らすことが重要と考え、札私幼は、私保連と連名で、「新型コロナウイルスワクチンの優先接種に関する要望書」を、5月25日に札幌市に提出しました。要望の際には、幼児教育・保育の現場は密を避けられない環境にあること、コロナ禍であっても幼児教育・保育の質を維持することが不可欠であること、幼児教育・保育施設は社会の維持に必要かつ重要であることなどを訴えました。

その結果、6月10日に、幼稚園、認定こども園、保育所等の教職員も、クラスターリスクや社会的機能維持の観点から優先接種の対象になることが示されま

した。すでに該当者には接種券が送付され、早々に1回目の接種を済ませた方もいるでしょうが、副反応のリスクもあるため、各園におかれましては、強制ではなく個人の判断にゆだねること、また未接種の教職員に対して差別的な取り扱いなどが生じないように、ご配慮をお願いいたします。一日でも早く、幼児教育・保育の現場に日常が戻ってきますように。



## 令和3年度 特別講演会「思うは招く～夢があればなんでもできる～」

7月8日（木）午後4時30分から、京王プラザホテル札幌にて特別講演会が開かれました。大谷研究委員長の司会で、札私幼 敷会長からの挨拶で始まり、すぐに講師の植松努先生が紹介されて講演が始まりました。

植松先生は、株式会社植松電機の代表取締役で、北海道赤平市で会社を営んでおられます。クレーンやショベルカーに取り付ける作業用電磁石システムの開発、製造を行っており、リサイクル用機器の製作・販売シェアは9割に達しているそうです。



たくさんのスライドを軽快に進めながら植松先生がお話されたことは、多岐にわたりました。人口が減少しデフレで安い品が求められる今の時代においては「安定した仕事」という概念は昭和の昔話であり成立しないこと。自分の能力を使い、自分でやりたいことを実現する、そんな楽しいことを探そうということ。それには不安もあるがそれを乗り越えたところに喜びがあること。人は足りない同士だから助けあえるので、足りないことで自分を責める必要はなく、勇気を出して他人を頼り、人に頼られたら助けようということ。

などなど…。言葉はシンプルでありながら気持ちがかもっており、たくさん動画や写真もあり、講演の90分があったという間に過ぎました。最後に、太田副会長から感想とお礼を述べ、植松先生の特別講演は終わりました。



人を助けるときに必要なのは、その人を観察し、予測し、自分ならどうするかを考えること。すなわち、「おもいやり」と「やさしさ」であるというお話や、何かを目指す人や自分に対し「どーせ無理」と思ってしまったら、言うてしまうことは、その人や自分の、夢・心・可能性を奪う大きな過ちであり、そんなときは「だったらこうしてみたら？」という言葉をかけ、どうやったら実現できるかを考えていく、というお話などは、一人ひとりの子どもと向き合い、同僚とチームで取り組む私達の仕事においても、そのまま参考になる眼差しだと思いました。



## 令和3年度 幼稚園教諭養成校・札幌市私立幼稚園連合会 懇談会



令和3年7月13日（火）、ホテル札幌ガーデンパレスにて令和3年度 幼稚園教諭養成校・札幌市私立幼稚園連合会懇談会が行われました。この会は、例年12月に行われておりましたが、このような状況下において学生の学びの状況や実習・就職に対する不安等、養成校と幼稚園・認定こども園が情報を交換し共通認識を持つ必要性を感じ、今年度は7月と12月の2回開催する運びとなりました。

札私幼敷会長の挨拶の後、5月より新しく北海道幼稚園教諭養成校協会会長に就任された、藤女子大学副学長 小川恭子先生よりご挨拶を頂きました。その後、今年度から開設された札幌市保育人材育成センター（さぼ笑み）について責任者の坂東秀美様にお話をし、札私幼からは復職・就職支援セミナーと就職フェアの



報告・案内をした後に、グループ懇談を行いました。

グループ懇談では、教育実習と就職についての2点を中心に話し合われましたが、コロナ禍において学生はボランティア活動等、事前に子どもたちと触れ合う機会が持たず、実習に対して不安を抱いているという事や、養成校としても感染状況によってリモート授業に切り替わるため学びが深められないという話が出ていました。また、実習に出るにあたって、対応には違いがあるものの、どの養成校も感染対策と学生への指導をしっかりと行っていることがわかりました。

就職については、学生にとって就職フェアは就職意識が高まる良い機会となっており、札私幼のHPも活用しているという声も聞かれ、このような状況ではありますが、開催方法を工夫しながら就職フェアを行う意義があるという認識を強くしました。つきましては、会員園の皆様におかれましても、札私幼HP内の就職サイトをご活用頂きたいと思っております。



## 令和3年度 札幌市子ども未来局の私立幼稚園・認定こども園関連業務の担当について

子ども未来局長 山根直樹 子育て支援部支援制度担当部長 加茂貴裕  
 保育推進課長 草野晶裕 施設運営課長 佐藤晴美

(敬称略)

所管業務		所管部局	電話
1	・認定こども園、新制度に移行した幼稚園の定期運営指導（監査）	施設運営課 運営係 (大木係長、堀内)	211-2986
2	・教材教具等整備補助金 ・特別支援教育事業費補助金 ・研修費等補助（団体助成）	施設運営課 運営調整担当係 (中村係長、作田)	211-2986
3	・私立幼稚園施設等利用給付費の交付（私学助成幼稚園）	保育推進課 保育料係 (中山係長、阿部)	211-2987
4	・子ども子育て支援事業計画	保育推進課 保育企画係 (亀苔係長、岡田)	211-2346
5	・一時預かり事業	施設運営課 運営係 (大木係長、鐵川)	211-2986
6	・新制度に移行する幼稚園、認定こども園の確認等	保育推進課 施設整備担当係 (小野寺係長、齋藤)	211-2346
7	・認定こども園の施設整備補助金	保育推進課 施設整備担当係 (小野寺係長、柏谷)	211-2346
8	・施設型給付費の交付	施設運営課 給付係 (藤間係長、小村)	211-3027
9	・副食費の減免（新制度幼稚園、認定こども園）	施設運営課 運営係 (大木係長、八幡)	211-2986
10	・副食費の補足給付（私学助成幼稚園）	保育推進課 保育料係 (中山係長、西岡)	211-2987
11	・施設等利用給付認定、償還払い	札幌市子ども子育て支援事務センター	050-3822-3777

## 令和3年度 札幌市幼児教育センター 職員紹介

研修・教育相談等でお世話になっております幼児教育センターの先生方をご紹介します。(敬称略)

幼児教育センター担当課長 太田 大輔  
 幼児教育企画・研修担当係 指導主事 松井 泰子  
 幼児教育企画・研修担当係 指導主事 本間 真純  
 幼児教育企画・研修担当係 指導主事 宮崎 野歩  
 幼児教育相談担当係 指導主事 金澤 恵美  
 幼児教育相談担当係 指導主事 吉本 学  
 幼児教育相談担当係 指導主事 新谷 秀一

ちえりあ改修工事のため、令和4年1月まで、下記住所に移転しています。

〒060-0002

中央区北2条西1丁目1-7 ORE 札幌ビル7階  
 電話 671-3454

## 札私幼スイーツ王子のおすすめスイーツ

### 令和3年度・第1回「全国レベルのひんやりスイーツ」

夏の日差しが眩しい今日この頃、本来であれば【夏休み】を思いきり楽しみたいところですがまだまだコロナ禍で羽を伸ばして・・・までは難しいですね。そんな中、今回は全国レベルのひんやりスイーツを王子がご紹介してくれました！つかの間の夏休みに足を運んでみてはいかがでしょうか・・・

### LITTLE JUICE BAR (リトルジュースバー)

#### 王子の一言

#### 中央区南4条東3丁目11-1

- ① おすすめは【いちごけずり】凍らせた【いちご】を丸ごと専用のマシンで薄くけずったシャリシャリ食感の【まるけずりフローズンいちご】に北海道産ミルク&練乳を使用し、雪のような口どけの【ふわふわミルクムース】をのせたひんやりスイーツ。
- ② 同じようないちごスイーツを見かけますが、このお店が元祖です！道外でも人気あり！
- ③ 地域によっては【Wolt】【Uber Eats】などのデリバリーも可能。



### KINOTOYA BAKE (きのとや ベイク)

#### 王子の一言

#### 中央区南2条西3丁目 地下街ポールタウン内

- ① おすすめは【極上牛乳ソフト】新千歳空港ソフトクリーム総選挙で多くのライバル店をおさえ2018年そして2019年の2年連続【1位】に輝いたソフトクリームです！
- ② これを食べられるのは【きのとや白石本店】【新千歳空港店】【ポールタウン店】だけです！
- ③ 純白のドレスのような【白さ】が印象的でボリュームもあり手にしただけで【Happy】な気持ちになります・・・
- ④ 焼きたてカスタードアップルパイも人気です！





# 連 台 会 日 誌

札幌市私立幼稚園連合会の主な動き  
(予定を含む)

- |  |  |
|--|--|
| 4月6日(火) 研究プロジェクト委員会(かでる2・7)                            | 6月28日(月) 広報委員会(清璋寺)                                  |
| 4月7日(水) 監事監査(ちえりあ)                                     | 6月29日(火) 認定こども園委員会(新善光寺)                             |
| 4月14日(水) P連理事会(札幌ガーデンパレス)                              | 6月30日(水) 研究委員会(かでる2・7)                               |
| 4月21日(水) 総務委員会、理事会(札幌市民ホール)                            | 7月6日(火) 振興プロジェクト委員会(ズーム)                             |
| 4月23日(金) 政令協議会運営委員会(京王プラザホテル札幌)                        | 7月8日(木) 特別講演会(京王プラザホテル札幌)                            |
| 4月27日(火) 広報委員会(新善光寺)                                   | 7月13日(火) 総務委員会、理事会、養成校懇談会(札幌ガーデンパレス)                 |
| 5月11日(火) P連正副会長会議(ライン)                                 | 7月27日(火) 初任者段階における研修(理論・実<br>または28日(水) 践研修1)(かでる2・7) |
| 5月12日(水) 振興プロジェクト委員会(札幌市民ホール)                          | 8月4日(水) 広報委員会(新善光寺)                                  |
| 5月13日(木) 研究委員会(札幌ガーデンパレス)                              | 8月5日(木) 初任者段階における研修〔2年次〕(理<br>論・実践研修3)(かでる2・7)       |
| 5月17日(月) 初任者段階における研修(スタート<br>または18日(火) アップ研修)【動画配信へ変更】 | 8月19日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会次<br>世代研修会大阪大会(ズーム)         |
| 5月20日(木) 広報委員会(ズーム)                                    | 8月23日(月) 特別支援教育研修会「講演」(かでる2・7)                       |
| 5月21日(金) 総務委員会、定時総会(札幌ガーデンパレス)                         | 8月24日(火) 広報委員会(ズーム)                                  |
| 5月26日(水) P連定期総会【中止～総会議案書送付】                            | 9月上旬 就職フェア説明会(オンライン)                                 |
| 6月2日(水) 札私幼事業等オンライン説明会(YouTube)                        | 9月13日(月) 札幌幼児教育セミナー(かでる2・7)                          |
| 6月14日(月) 初任者段階における研修(保育公開を<br>伴う研修)【動画配信へ変更】           | 9月20日(月・祝) 就職フェア(札幌ガーデンパレス)                          |
|  | 9月25日(土) 教育研究大会全体会(札幌市民ホール)                          |



先日…突然「せんせいってさ、こどもすき？わたしはすき。あっ、あかちゃんのことね」と保育士の私に、なんとも考えさせられる質問です。「先生をしてるけど、ちゃんと子どものことを考えて保育してる？根っこを忘れてない？」とも聞こえ…でも彼女は、その場に一緒にいる仲間感覚で質問を投げかけている様子。そして「あっ、あかちゃんのことね」の言葉の裏には「自分も子どもってことはわかっているけど、私よりも小さい赤ちゃんが好きってことね！」というニュアンスがしっかり伝わってきたことがなんとも面白く、哲学的な質問に「わ、わたしも好きだよ！」と、ぎこちない返事をしました。子ども達との暮らしにはた

くさんの「面白い」があります！

子ども達は毎日遊ぶ中で発見や気づきがあり、試行錯誤し、それを身近な人に伝えたくて、身振り手振りや表情、言葉、そして描いたり作ったりしながら、思い思いに真っ直ぐに表現します。その「素直さ」や「純粹さ」、「面白さ」を間近で感じられることが、この仕事の面白さ、楽しさのなかぁと感じています。

時代は確実に進んでおり、ごっこあそびでもクレジットカード、ポイントカードが出てきたり、ポウルに水を入れて「ワクチンつくってるの！」と子ども達の暮らしの【当たり前】が変わりつつありますが、いつの時代も変わらない「子どもさながらの暮らし」を大切に、一緒に面白がりながら笑顔で過ごしていきたいなと思った一学期でした。

(広報委員・大徳 佳子)